ようこうだより 10 月

令和５年 10 月６日

社会福祉法人 みどり会
みどりの森
ようこうこども園

園長　日浦信介

「どんな子ども（人）に育ってほしい、と思っていますか」こう聞かれた時、答えは人それぞれですね。親としては、「やさしい子になってほしい」「明るく元気に育ってほしい」「世界で活躍する人になってほしい」など様々でしょう。この問いに対して保育園や幼稚園、こども園がどのように考えるかによって、その園の保育方針が決まり、特徴となって表れてくるのだと思います。

ようこうこども園の運動会は、年齢や発達に応じて“運動”する子どもたちをご覧いただく運動会です。誰かと比べて“できる・できない”ではなく、一人ひとりがその子なりに楽しんでいる・頑張っている姿を見守っていただければと思います。

特に年少以上の 3～5 歳児は、集団ではなく一人ずつ競技に挑みます。「やればできる」「あきらめないでよかった」「みんなと一緒に頑張った」「たくさんの人の前でドキドキしたけど、できてうれしい」こういった思いを感じ、自分に自信をもってもらえる機会…“運動会”になればいいなと思っています。

ぶーらんぶーらん

上まで登れたよ　おーい！

10 月　行事予定

5（木）　歯科検診《2》
21（土）　運動会（1～5 歳児）
　　予備日 22（日）
23（月）　内科健診《2》

11 月　行事予定

7（火）　遠足（乳児）予備日 9（木）
11（土）　卒園児園庭開放
14（火）　遠足（幼児）予備日 16（木）
28（火）　芸術鑑賞（人形劇）

【自分の思いが出せなければ、相手の気持ちも受け入れられない】

自己発揮というか、「自分をありのままに出せること」が大事だと思っています。よく相手を受け入れなさいとか、相手の気持ちを考えなさい、というけれども、それができるようになるには自分の思いを出すことができないと、本当の意味では受け入れることができないのではないか、と思うからです。私は公立幼稚園の産休代替教諭としていくつもの園で保育に携わってきました。多くの園で子どもたちを見てきて感じるのは、今の子どもたちは「人に迷惑をかけないように」と育てられてきた子が多くて、とくに 3 歳まで家庭で育ってきている幼稚園の子どもの場合は、それが顕著なのではないか、ということです。だからこそ、自分を発揮するということにこだわりたい、という思いがあります。

それには、3 歳児の時の砂遊びと水遊びが、私は一番いいチャンスだと思っています。砂や水や泥にまみれてはちゃめちゃになって遊ぶと、子どもの様子はガラッと変わっていきます。おとなしいと思っていた子が「僕は今これがやりたいの！」なんて、友だちとケンカができるようになっていくんです。自分のことを自信を持って言えるようになる、ということだと思います。そういう時、あとから「さっきケンカしてたよね」なんて私が声をかけると「あれはケンカじゃないよ。ただちょっと声を大きく言っただけだよ」とだいたい子どもは否定します。おうちの人から「ケンカはダメ」と言われているから“ケンカはいけないこと”と思っているんです。

ケンカをするということは相手と仲良くなるための一つの手段なんだ、ということを伝えていきたい。だから子どもたちに「知ってる？二人はケンカ友だちっていうんだよ」って言うと、表情が輝いていきます。そういう経験を、もっとたくさんしてほしいな、と思っています。

『エデュカーレ（第 65 号）』私が考える子ども像　藤枝陽子 より